

## 主のご復活、おめでとうございます。

「いつくしみの特別聖年」という恵みの年の復活祭を迎えました。神は、人類に対する「はらわたがちぎれるほどの」愛を、イエスによって示してくださいました。神のいつくしみである優しさ、共感、寛大さ、ゆるしの気持ちを、わたしたちも生きることができるよう、いつもともにいてくださるイエスに恵みを願いながら、この復活節を過ごしたいと思います。



## 第40回日本カトリック映画賞 『あん』 に決定

河瀬直美監督 / 2015年 / エレファントハウス配給

**授賞式&上映会 2016年5月5日(木・祝)13:00開演 なかのZERO 大ホール**

第40回日本カトリック映画賞が『あん』に決定、来る5月5日授賞式と上映会が開催されます。この作品は海外の国際映画祭（カタル及びカンヌ）でも異例のロングランが続き、45カ国で上映が決まっている話題作です。

一本の映画との出会いが観客の人生観を変えてしまうことがあります。また映画の一場面からとても大切な気づきを与えられることもあります。その映画との出会いを感謝したくなる映画もあります。この映画『あん』もそのような映画と言えます。人生は思い通りにならない、今の自分はなりたいた自分ではない—そんな悩みに囚われているわたしたちにどんな人生にも生きる意味があることを気づかせてくれる作品です。どら焼き屋の店長、千太郎（永瀬正敏）とその店で働きたいと懇願する老女徳江（樹木希林）。二人とも思うようにならない人生を生きてきました。そんな二人が共にどら焼きを作るうちに、やがてお互いにかけてあげられない存在となっていく。「わたしたちはこの世を見るために、聞くために生まれてきた。…だとすれば、何かになれなくても、わたしたちには生きる意味があるのよ。」という徳江の言葉は、どんな人生をも肯定する力強い励ましの言葉です。「どら焼きは、あんが命」と小豆を丁寧にまるで人のように扱う徳江は樹木や月にも話しかけます。「この世にあるものはすべて、ことばを持っていると信じている」そう語る徳江。映画を通して徳江という人物が観客の心の中にしっかりと根を下ろします。優れた映画の登場人物はいつもこうして観客の中で生き始めます。どら焼き屋の店長として重苦しい日々を送っていた千太郎は、徳江と出会うことで生きる意欲を取り戻します。徳江のように「この世にあるものはすべて、ことばを持っている」と信じていることができたなら、わたしたちの日常は少しだけ静けさを取り戻し、周囲に優しくなれるかも知れません。この作品は、人は人と出会うことで生き直すことが出来るという希望に満ちたメッセージをわたしたちに届けてくれます。映画『あん』と観客の皆様との出会いが今から楽しみです。



### ＜カトリック映画賞の歩みを振り返る＞

日本カトリック映画賞も今年で40回を迎えました。振り返ると実に多彩な作品が受賞作として並んでいます。それらの作品に共通しているのは、人の世の美しさや人の心の温かさが描かれていることです。まさに、「スクリーンの向うに天国が見える」ような作品です。（これはシグニスの団体会員「天国映画村」の合い言葉です。）観客から「いい映画を上映してくれてありがとう」と言われることがあります。映画賞の選考に携わるわたしたちの大きな喜びです。映画賞決定までには、候補作品の推薦に始まり、試写、選考、上映会の準備、宣伝、チケット販売、授賞式と上映会の運営など、やらなくてはならないことがたくさんあります。シグニスのメンバーと協力者が時間のやりくりをしながらボランティアでそれらを行なっています。そこには楽しいばかりではない、また苦労ばかりではない—他では得難い充実した時間があります。だれもが活動と仕事や家事との時間や労力のやりくりで苦心します。しかし、それでも続けているのは、映画が人と人を繋ぐこと、そして「スクリーンの向うに天国が見える」ことをメンバーの一人ひとりが信じているからだと思えます。これまで映画賞を支えてくださった多くの皆様、そして素晴らしい「映画たち」に感謝しています。ありがとうございました！（鈴木浩）

チケット：1,000円/高校生以下、障がい者（含介助者1名）800円

販売所：聖イグナチオ教会案内所、スペースセントポール（東京カテドラル内）、サンパウロ書店（四ツ谷駅前）、ドン・ボスコ社（四ツ谷）、高円寺教会天使の森

メール・電話での申込み：SIGNIS JAPAN 事務局 info@signis-japan.org / TEL 090-8700-6860（担当 大沼）

バリアフリーについて ★字幕付き上映、鼎談は手話通訳付きです。

★皆さまのお越しをお待ちしております。★

## シグニス東アジア会議に出席して

聖心侍女修道会 石川治子

シグニスについては映画賞を出すグループとしか認識していなかったわたしですが、思いもかけずこの会議に参加する機会をいただき、違った側面を知る事が出来ました。心から感謝しています。またシグニスの活動が広く世界的つながりの中で行われていることが分かったことも参加の實りでした。今回、漢字圏でつながる東アジアの5カ国の集まりであったことも、シグニスへの親近感を与えてくれたように思います。それぞれの国で違った課題ではあっても真摯に取り組んでいる姿勢を見ることができて刺激を受けました。特にマカオや香港の若い方々が、メディアを通して大活躍している姿に希望を感じました。香港のアンプレラ革命への若者たちの怒りの抵抗とその積極的参加を収録したビデオを見て、青年たちがはっきりと意見を言い、それでいてあくまでも非暴力的な民主的運動を貫く姿勢に感動を覚えました。それらを通して若者たちのしっかりした考え方がわかり、それが

彼らの生き方にまで繋がっていることが伝わってきて頼もしく感じました。

現在の日本の政治や社会を見ると、社会的に弱い立場に追いやられた人々への無視、排除とも言えるような状況が見られます。政治は本来人間の幸福のためになされるはずなのに、経済重視、お金中心のような傾向に危惧を覚えています。人間の尊厳が軽視され、表現の自由が危うくされそうな現在の状況を見ると、わたしたちももっと正当な怒りを抱き、それを公然と表しても良いように思います。そのためにはしっかりとした情報提供が敏速にでき、現実社会を見て福音的視点からの預言的発言をしていくメディアの存在が不可欠です。そのためにシグニスジャパンにその一翼を担ってほしいという思いがこの会議を通して湧き出てきたわたしの切実なる願いでした。



## 高槻の「高山右近」



10年ぐらい前ででしょうか、高山右近がキリシタン大名だということを知り、三浦綾子の『細川ガラシャ夫人』を読んで知りました。ガラシャが清原マリアを通して高山右近のことを知り、直接話したことがないにも関わらず、どんどん惹かれていったその高山右近とは、どんな人物だったのだろうかと関心をもちました。そして

2年前に出版された古巣神父の『いま、降りていく人へ』（ドン・ボスコ社刊）を読み、いままで以上にその魅力に触れ、いまの時代にこのような人がいたらカトリックの世界はどのようになっているかと想像します。

高山右近はイエスを知ったことにより、カトリックの教えはイエスが言われたことを単純に素直におこなうことだと受け止めます。そして人生そのものを喜びの福音を伝える者

に変えられていきます。どんな人でも大切にされる慈悲の心、祈ることによる神との繋がりを家臣たちも目の当たりにして自分たちも洗礼を受けたいと思ったのでしよう。だからこそ、ガラシャが目撃した高山右近は温かみを持ちながら、凜とした姿に映ったのでしよう。わたしたちも少しでも近づきたいものです。

**神の「いつくしみ」という義を知った右近にとって、心底願ったのはかけがいのない人のいのちと平和でした。家臣たちが右近に信頼を寄せ、また、その多くが右近を通して福音に出会った理由がここにあります。**（『いま、降りていく人へ』から）

いつの時代にも通じる神と人とのまことの信頼。みんながこのような温かな気持ちを持っていたなら、争いもなく平和なときが過ごせることでしょう。

ちょうどこれを書き終えたときに溝部司教が帰天なさったことを知りました。日本人の列福に多大な尽力をされたことに、お礼を申し上げます。来年の高山右近列福をご一緒に喜ばないことが、とても残念でなりません。どうか天からお見守りください。（谷口ひろこ）

## 賛助会員募集

一緒にメディアを通して福音を伝えていきましょう！

わたしたちSIGNIS JAPANの活動をサポートして下さる賛助会員を募集しています。

会員の方には、ニュースレター「タリタ・クム！」（年3回発行）をメールまたは郵便にてお届けする他、賛助会員と共に捧げる感謝のミサを東京地区で行っています。詳細は賛助会員の皆さまにご連絡させていただきます。

年会費一口 3,000 円。ご入会いただける方は、氏名、住所、連絡先を下記までお知らせ下さい。

どうぞよろしくお願いいたします！

〒107-0052 東京都港区赤坂8-12-42 聖パウロ女子修道会内 SIGNIS JAPAN / [info@signis-japan.org](mailto:info@signis-japan.org)

会費およびご寄付は、下記へ振込みをお願いいたします。

銀行振込 三菱東京UFJ銀行 六本木支店 普通 1679019 SIGNIS JAPAN 代表 千葉茂樹

郵便振替 口座番号 00100-0-594547 口座名称 SIGNIS JAPAN 代表者 千葉茂樹